



トップに聞く!

お客様の喜びは、私たちの喜び。  
 タクシーを超えた  
 『価値ある満足の創造』を目指す。



▲本社倉庫(左から赤池社長、竹下頭取)

旭タクシー株式会社  
 代表取締役社長

赤池 賢太郎氏

取引店/熊本銀行 田崎支店



林頭取 御社は熊本県内トップクラスのタクシー会社ですが、

現在の地位を確立するまで様々な苦勞があったかと思えます。



赤池社長 我が社は1933年(昭和8年)、私の祖父が個人

創業したのが始まりです。その後、戦時中の自動車接収による事業の中断期を経て、51年(昭和26年)に法人設立し、私が4代目になります。

私は大学を卒業後、そのまま東京でサラリーマンをしていまし

た。当時の我が社は労働争議による多額の借金を抱え、業績が苦しかったこともあり、父は会社を継ぐことを強くは勧めませんでした。しかし、祖父の代から続く会社を守っていくため会社を継ぐ決心をし、85年(昭和60年)、28歳のときに熊本に戻りました。入社から10年程度は現場で運転手として働き、99年(平成11年)に社長に就任しました。

社長就任時、財務の見直しに着手しました。当時の私は財務に疎かったため、熊本銀行の支店長に指導を仰ぎながら勉強したことが思い起こされます。勉強しながら努力を続けてきた結果、財務を好転させることができました。

また近年では、タクシー特措法(※1)により2009年(平成21年)から数回にわたって減車を余儀なくされています。同法によって増車や新会社設立が規制されていたため、00年(平成12年)にM&Aにより第二旭有限会社を設





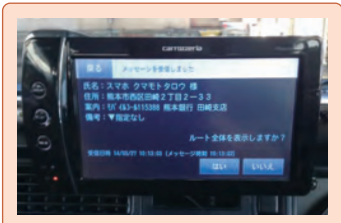
観光タクシーも  
お任せ  
ください!



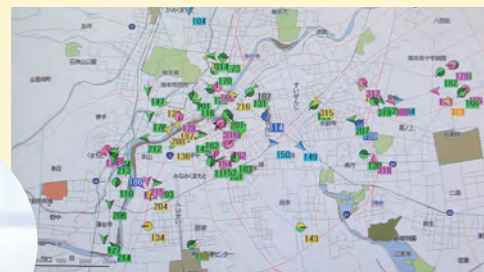
福祉車両も  
ご用意  
しています。



5秒で配車指示が完了!



最新鋭のデジタルGPSシステムで  
最寄りの車両を瞬時に配車



スピード配車が  
自慢です!!

お客さまのもとへ  
即座に駆けつけます!



電話でも!アプリでも!旭タクシーのスピード配車システム!



スマートフォンアプリ「モバイルコール」からも呼び出し・予約が可能です!



③車両の位置を確認  
できます  
②GPSや登録地点から  
お迎え場所を選択  
①アプリを立ち上げ

11年(平成23年)に導入したデジタル通信を用いたGPS-AV Mシステムは、カーナビ上に配車指示等を文字情報で伝達するもので、我が社の大きな特徴です。情報を地図や文字を通じて視覚的に伝達するようにしたこと、聞き間違い等を防止して正確な

業界をリードする御社ならではの強みもたくさんありそうですね。

こうした理念の実現に向けて、「誠実な人間性」「卓越した技術力」「豊かさを求める挑戦心」「遵法精神」「環境保全」という5つの行動原則を策定しています。お客様に誠実に対応できる乗務員がサービス向上に努めつつ、ルールに則り安全・快適に目的地までご案内することで、お客様や社会のお役に立ち、+1の価値を創造できる企業となることに繋がっていくと考えています。

こうしたシステム、営業戦略、そしてモチベーションの高い乗務員が一体となることで、お客様からは「旭タクシーは呼んだらすぐに来てくれて助かる」という声を寄せていただいております。1台当たりの売上高は熊本市交通圏平均の1.5倍とトップクラスの水準を維持し続けることができます。

立した経験を活かし、11年(平成23年)、近隣の他社から営業権を買い取り、第参旭株式会社を設立し、業容の維持・拡大に努めてきました。  
(※1)タクシー特措法:「特定地域における一般乗用旅客自動車運送事業の適正化及び活性化に関する特別措置法」。小泉政権下で実施されたタクシー規制緩和により生じた過当競争の解消、運転手の賃金維持等を目的に施行された法律。

柔軟な経営姿勢がうかがえますが、御社の理念はどういうものですか。  
「Creative Transportation ASAH」という経営理念を掲げています。この言葉には「24時間、最善のサービスを通し、お客様のお役に立つ足を創造する」という想いを込めています。また、「価値ある満足を創造」を指し、「Beyond the taxi」(単なる輸送手段を超えて、お客様へ+1の価値をもたらすことのできるタクシー)を追求しています。

配車システムは、九州でいち早く最新システムを導入してきました。87年(昭和62年)に、タクシーがどのエリアにいるかをディスプレイ上に表示できるアナログ式の半自動AVM無線配車システム(※2)を導入しました。そして、94年(平成6年)にGPSを利用して各車両の位置及び移動が認識できるGPS-AVM無線配車シス

情報伝達が可能になり、お客様の迅速・確実なお迎え、ご案内ができるようになりました。同時に、無線の雑音をお客様に聞かせることなく、静かな空間で過ごしていただけます。また、ご予約いただくお客様にとっても、個人情報が無線を通じて車内に垂れ流しになるという心配がなくなりました。また、待機場所を確保するように積極的に営業活動を行い、市内各所に車両を待機させ実車率をアップさせています。





▲左から山下整備工場長、小野営業部長、武田統括部長、赤池社長、竹下頭取、高木支店長(熊本銀行)



▲赤池社長

指導していただきながら、農作物を  
実際に作って勉強しているところ  
です。収穫した作物はスーパー  
等で販売しています。何しろ自分  
でやってみないと分かりませんか  
ら。作付け、栽培方法、流通・販売  
等多くの体験が農業法人の経営  
にきつと役立つはず。退職後の  
雇用の場を確保することができれ  
ば、社員の安心に繋がります。業  
務に一層励んでもらえると思いま  
す。  
我が社の社員には、退職してか  
ら生活の不安無く、充実した人  
生を楽しんでもらいたい。そのた  
めの場になればと意気込んでい  
ます。

◎インタビューを終えて



熊本銀行  
取締役頭取 竹下 英

時代を先取りした設備投資を行い、現在では熊本を代表するタクシー会社として、確固たる地位を確立されています。

配車室では次から次に電話が鳴り、貴社がいかにお客様から頼られる存在となっておられるかを実感すると同時に、手早く、正確にドライバーに情報が届く配車システムに興味深く拝見させていただきました。

今後も「お役に立つ足」として、市民生活を支え続けられることを期待しております。



▲整備の様子



▲整備工場見学風景



▲創業者  
赤池実雄氏



▲二代目赤池憲治氏



▲昭和初期の旭タクシー

最近ではスマートフォンを利用した配車システムを整備され  
たそうですね。

近年、スマートフォンの利用者が爆発的に増加していることから、昨年12月にスマートフォン用のタクシー配車アプリ「モバイルコール」を開発しました。お客様はアプリ(無料)をダウンロードすることで、スマートフォンのGPS機能を利用して、熊本市交通圏で待機・走行中の旭タクシーから一番近い車両を簡単に呼び出すことができます。電話が繋がりにくい場合や、説明が面倒、通話料をかけたくないというお客様には最適のツールです。マップ機能でタクシーの現在地も確認できるほか、地図からの予約、よく使う場所のお気に入り登録もできます。

電話でわざわざ説明するよりも手早く予約ができて便利です。ね。それでは最後に将来展望や目標をお聞かせください。

今後もスケールメリットを活かした事業展開を行っていくため、200台を目指して可能な限り台数を増やしていきたいと考えています。現在、M&Aにより第五旭株式会社を設立したところで、夏までには熊本市交通圏トップのタクシー数141台(認可台数は177台、法人タクシーの7%超シェア)による営業体制が整う予定です。また、現在は6.5%の台数シェアで10%超の売上シェアを占めていますが、1台あたりの売上高を更に高めたいと考えています。

更に、本業からは離れますが、定年退職した社員の働き場所として、10年後を目処に農業法人を設立したいと考えています。そのため4年ほど前から、熊本県上益城郡に土地を借りて農家の方に